

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
平成 23 年度 文化/社会人類学研究セミナー 募集要項【追加募集】

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）は、下記の要領で全国の博士後期課程の大学院生および PD を対象に、平成 23 年度「文化/社会人類学研究セミナー」を開催し、受講生を募集いたします。なお、このセミナーは、基幹研究「人類学におけるミクロ・マクロ系の連関」の一環として実施されるものです。

記

1. 開催日 平成 23 年 12 月 3 日（土） 午前 9 時～午後 7 時頃を予定
2. プログラム 受講者それぞれ 1 時間程度の自らの投稿予定論文または博士論文にかかわる研究発表を行い、研究会形式で関係教員および他の受講者から質問・コメントを受けることで、論文の執筆に資する。
3. 開催場所 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1）
4. 応募資格 文化/社会人類学研究を進めている大学院博士後期課程の大学院生。PD またはこれに相当する研究歴を持つ者で、学術論文、博士論文の執筆計画を持つ者。
5. 募集人員 5 名程度。なお、募集人員内で大学院生、PD、その他の区分は行わない。
6. 受講料 無料。なお、首都圏以外からの参加者には本学規定の範囲内で旅費を支給する。
7. 応募方法 以下に挙げる必要書類 4 点を下記応募先あてに郵送する。  
必要書類 4 点
  - ①履歴書：市販の履歴書用紙またはこれに準ずるもの（身上書欄・写真は不要。ただし、PC のメールアドレスを記載すること。携帯メールは不可）
  - ②論文執筆計画書：応募者が執筆を計画している論文の内容について、先行研究の問題点と応募者の研究方法を含め、何をどこまで明らかにしようとするのか、A4 用紙 1 枚程度でまとめたもの。様式は特に指定しない。
  - ③研究履歴：これまでの研究履歴を A4 用紙 1 枚以内でまとめたもの。研究業績一覧（印刷中・投稿中のものも可。口頭発表を含む）を添えること。様式は特に指定しない。
  - ④研究発表要旨：セミナーにおける研究発表の内容（および博士論文執筆予定者の場合は、論文執筆計画の中での当該発表の位置づけ）につ

いて、A4 用紙 3~4 枚程度でまとめたもの。様式は特に指定しないが、他のセミナー参加者が事前に読んでおくことで、自分の研究発表を理解するのに役立つと思われる関連参考文献も付けること。

8. 応募あて先 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1  
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 基幹研究「人類学におけるミクローマクロ系の連関」古谷伸子 気付  
Web ページ : <http://www.aa.tufs.ac.jp/kikanjinrui/>
9. 応募締切 平成 23 年 11 月 7 日 (月) (当日消印有効)
10. 受講者の決定 基幹研究「人類学におけるミクローマクロ系の連関」の班員において選考の上、11 月中旬に応募者に通知する。
11. その他 ①セミナー開催日の宿泊場所は、各受講者が手配すること。  
②応募書類は返却しない。  
③受講が決定した場合には、セミナーの効率を高めるため、応募書類の研究発表要旨④の写しを他の受講者に研究所側から事前に配布する。
12. 問い合わせ先 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1  
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 基幹研究「人類学におけるミクローマクロ系の連関」  
(質問は、必ず文書または e-mail でお願いいたします。電話によるお問い合わせには、お応えできません。)  
e-mail: [kikanjinrui@tufs.ac.jp](mailto:kikanjinrui@tufs.ac.jp)

以上

#### 担当予定スタッフ

宮崎恒二	オーストロネシア諸社会の人類学
栗田博之	文化人類学、パプアニューギニアを中心とするオセアニア研究
高島 淳	言語情報処理学、ヒンドゥー教研究
深澤秀夫	マダガスカルを中心とするインド洋海域世界の社会人類学
小田淳一	計量文献学、レユニオンとコモロを中心とするインド洋民話学
西井涼子	東南アジア大陸部の人類学
三尾裕子	東アジアの人類学
河合香吏	人類学、東アフリカ牧畜民研究
床呂郁哉	東南アジア島嶼部の人類学
椎野若菜	社会人類学、東アフリカ民族誌
津田浩司	東南アジア島嶼部 (特にインドネシア) の華人社会研究
古谷伸子	文化人類学、タイ研究
石森大知	文化人類学、オセアニア研究
大川真由子	社会人類学、中東研究